

ハッピーリタイアに向けて 診療所の「終活」考えていますか

自分の引退後を考えているだろうか。現在第一線で活躍していても、いつかは現場を離れるときが来る。ハッピーリタイアを実現するには、早い段階からの「終活」が重要だ。

横山実代

よこやま内科小児科クリニック理事

円滑な事業継続は 経営者の責務である

今後10年の間で、70歳を超える中小企業・小規模事業省の経営者は約245万人となり、うち約半数の127万（日本企業全体の1／3）が後継者未定――。中小企業庁ではこのような衝撃的な試算をしている。もともと、医療機関に関しては、経営者は原則「医師」という高いハードルがあるため、後継者確保は他業界以上に厳しい環境にある。実際、無床診療所の後継者不在率は89・3％との日本医師会総合政策研究機構の調査結果も出されており、全業種合計が66・5％であることを考えれば、顕著に高いことがわかる。

診療所は地域医療を支える社会的インフラとしての側面もあり、

地域住民や患者さん、そしてスタッフの生活に多大な影響を及ぼすため、「後継者がいないから」と安易に閉院という選択肢は取りにくい。それだけに診療所の経営者は親子承継、第三者承継、閉院、M&Aなど、自身のリタイア後を見据えた準備を抜きなく進めておきたいところだ。

栃木県栃木市にあるよこやま内科小児科クリニック理事であり、診療所経営に携わる女性の交流会「医ッ歩（いっぽ）二歩の会」*の主宰者でもある、横山実代理事は次のように語る。

「地域医療の継続性を確保するために、何よりも大切なのは問題な

く事業を引き継ぐことです。院長

が引退した後、あるいは万一のことがあったときでも地域医療を続けるために、どのような対応をするのか。後継者探しや相続税対策、退職医療金の準備、それに合わせた生命保険の最適化など、やっておくべきことは多数あります。そのときを迎えてから慌てて考えるのではなく、あらかじめ方針を固めておく必要があります。もちろん生活環境や考え方も変わるのでしょから、定期的に見直すことも大切です」

診療所の終活を通じて ライフプランを見直そう

事業承継や相続の際のトラブルを回避するとともに、院長と奥さ

ん、家族、スタッフ、患者さんなど、全員が幸せになる、ハッピーリタイアは誰もが望むことだが、経営が軌道に乗っている段階で、事業承継をイメージするのは難しいのも事実。そこで、横山理事がすすめているのが、「診療所の終活」である。

終活とは「人生の最期を考えることで、自分を見つめ直し、いまをよりよく、自分らしく生きる活動」と定義され、高齢社会の進展に伴って、注目されている活動。以前は高齢者が行うものとしていたが、最近は自分の生き方を考える、進むべき方向を見出すという観点から若者にも推奨されている。診療所経営者も同様に自院の目指すあり方、その実現に向けた



いっぽいっぽ
*医ッ歩一歩の会

診療所経営に携わる女性の交流会。1～2カ月に1回、東京都内で勉強会や交流会を開催。開業や人材採用、育成といった診療所経営にかかわるテーマを設定し、外部講師を招いた講義や情報交換で学ぶほか、子育てなどプライベートな悩みに関しても食事をしながら話し合う。

院長夫人は立場上、ほかのスタッフには相談しづらいため、どうしても1人で悩みを抱え込みがち。同会はそんな奥様事務長同士で“あるあるな悩み”を共有し、アドバイスをしあえる場、知っておきたい知識を一緒に勉強する場を目指している。

体制づくり、そして自分や家族のライフプランを重ねて考えていけばよいと、横山理事は説く。
「『自分の夢をやりたいことを挙げていきながら考えていけばいい』と思います。とはいえ、後継者の選択や相続税対策、財産分割対策に加え、医療法人の場合、出資金対策も考えておきたいところ。また、どの年齢で引退するのかで生命保険の組み方や資産運用の仕方も大きく変わりますので、若い時期から『終活』について考えておくことが大切です」

医ッ歩一歩の会 2019シンポジウム

開業医のクリニック経営における 終活を考える

入場
無料

クリニック経営において、その継承は悩みのタネ。子どもに継がせる、M&Aをする、閉院する……など様々なケースが考えられます。医療法人の場合には、出資持分によっても対策が変わってきます。このシンポジウムではそれぞれのケースにおいて考えられることを挙げ、みなで共有することが目的です。自院の終活を見つめるきっかけをつくりましょう。

不安のない
医院経営に向け
終活から
はじめましょう

開業医も
患者様も満足する
クローージングの
作法とは?

同じ悩みを
共有し、
未来を共に考える
サロンです

2019年12月1日(日)

【懇話会】13:30～15:00(開場13:30)

【交流会】15:10～16:30

オルクドールサロン

日本橋高島屋ビル最上階

(東京都中央区日本橋 2-5-1 高島屋三井ビルディング 32 階)

定員 50名(定員に達し次第締め切りとさせていただきます)

参加料 【懇話会】無料

(税込) 【交流会】実費(5,000円程度を予定)

共催 医ッ歩一歩の会／クリニックばんぶう
医業種交流会メビウス／DOC TOKYO



新規開業からスタッフ育成、増患対策、節税対策、法人化、事業継承、M&A、閉院など、経営全般に関する学びを深め、正しい判断基準を院長夫人たちに持っていただくことを目的にさまざまなセミナー、勉強会を開催している。



ご参加の
皆様には
本誌最新号
を贈呈!

お申し込みは
こちらから!



お問い合わせ：株式会社日本医療企画 担当：平山 TEL 03-3256-2885